第9期 活動実績(平成25年10月1日~平成26年9月30日)

《会員/職員の状況》

- ◆ 正会員 16 名
- ◆職員29名・非常勤職員2名・アルバイト職員2名

《会議開催の状況》

- ◆ 理事会 平成 25 年 11 月 15 日、平成 26 年 3 月 13 日、平成 26 年 9 月 19 日
- ◆ 通常総会 平成 25 年 11 月 20 日

《事業報告》

【厚生労働省の補助団体に採択】

◆ 厚生労働省「がん臨床試験基盤整備事業」に採択され、オンライン版臨床試験データ管理基盤システム (EDC)の導入などの基盤整備を行った

【がん研究者主導臨床研究事業】

- ◆ 国立がん研究センターと請負契約を締結し、がん集学的治療多施設共同臨床試験支援業務を実施した
- ◆ 臨床研究を行う研究班(受託研究一覧)と委託契約を締結し、データマネジメント業務を実施した
- ◆ 先進医療制度を用いる試験を行う研究班(<u>受託研究一覧</u>)と委託契約を締結し、調整医療機関事務局業務を実施した
- ◆ 医師主導治験を行う研究班(<u>受託研究一覧</u>)と委託契約を締結し、データマネジメント・研究支援業務、治験調整委員会事務局業務を実施した

(受託研究一覧)

【データマネジメント業務】

●平成 25 年度 厚生労働科学研究費補助金がん臨床研究事業 研究課題 14 件

研究代表者	研究課題名
辻仲利政	非治癒因子を有する進行胃癌に対する胃原発巣切除の意義に関する国際共同研究
藤田 伸	臨床病期Ⅱ・Ⅲの下部直腸がんに対する側方リンパ節郭清術の意義に関するランダム化比較 試験
古瀬純司	切除不能局所進行膵がんに対する標準的化学放射線療法の確立に関する研究
西村恭昌	頭頸部腫瘍に対する強度変調放射線治療の確立と標準化のための臨床研究
岩本幸英	高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究
濱口哲弥	肛門扁平上皮癌に対する新規化学放射線療法の確立
澁井壯一郎	悪性神経膠腫に対するTemozolomide の治療効果を増強した標準治療確立に関する研究
北野正剛	進行性大腸がんに対する低侵襲治療法の標準的治療法確立に関する研究
加賀美芳和	放射線治療期間の短縮による治療法の有効性と安全性に関する研究
後藤功一	再発小細胞肺癌に対する標準的治療法の確立に関する研究
片井 均	胃がんに対するリンパ節郭清を伴う腹腔鏡下手術と開腹手術との比較に関する多施設共同ランダム化比較試験

小野裕之	未分化型早期胃癌に対する内視鏡切除の有効性および安全性に関する多施設共同研究
塚崎邦弘	成人T細胞白血病リンパ腫に対するインターフェロンαとジドブジン併用療法の有用性の検証
金光幸秀	治癒切除不能の Stage4 大腸がん症例に対する原発巣切除の意義を明らかにする研究

●平成 25 年度 国立がん研究センターがん研究開発費 研究課題 8 件

研究代表者	研究課題名
飛内賢正	23-A-17 高感受性悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究
田村友秀	23-A-18 呼吸器悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究
島田安博	23-A-19 消化管悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究
澁井壯一郎	23-A-20 希少悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究
伊藤芳紀	23-A-21 放射線治療を含む標準治療確立のための多施設共同研究
奥坂拓志	23-A-22 難治性悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究
田原 信	25-B-2 進行頭頸部がんに対する化学放射線療法を中心とした集学的治療の開発に関する研究共同研究
濱口哲弥	25-B-7 超高齢化社会における治癒困難な後期高齢がん患者に対する標準治療の確立およ び個別化への応用に関する臨床研究

●平成 26 年度 厚生労働科学研究委託費革新的がん医療実用化研究事業 研究課題 28 件

研究代表者	研究課題名
岡本 勇	高齢者進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対する標準的化学療法の確立に関する研究
渡辺俊一	非浸潤または小型非小細胞肺癌に対する標準的機能温存手術の確立に関する研究
森田信司	患者のQOL向上をめざした胃がんに対する低侵襲標準治療確立に関する多施設共同試験
寺島雅典	高度リンパ節転移を有する HER2 陽性胃癌に対する術前 trastuzsumab 併用化学療法の意義 に関する臨床試験
山田康秀	切除不能進行・再発胃がんに対する個別化治療と最適化標準療法に関する研究
土岐祐一郎	切除可能進行胃癌に対する網嚢切除の意義に関する研究
大橋 学	ステージ III 胃癌に対する術前診断の妥当性研究:術前補助化学療法への転換を目指して
増田慎三	乳がん術後の適切なフォローアップに関する研究
枝園忠彦	StageIV 乳癌に対する標準治療の確立に関する研究
丸山 大	高齢者多発性骨髄腫患者に対する至適な分子標的療法の確立と治療効果および有害事象を 予測するバイオマーカーの探索的研究
石川光也	早期子宮頸がんに対する機能温存低侵襲手術の確立に関する研究
吉川裕之	上皮性卵巣癌の妊孕性温存治療の対象拡大のための非ランダム化検証的試験
志田 大	直腸癌側方骨盤リンパ節転移の術前診断の妥当性に関する観察研究
清水泰博	大腸がん肝転移切除例に適した新規抗がん剤を用いた術後補助化学療法の研究
濱口哲弥	超高齢者社会における治癒困難な高齢切除不能進行再発大腸癌患者に対する標準治療確立 のための研究
岩本幸英	高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究
西村恭昌	頭頸部腫瘍に対する強度変調放射線治療の確立と標準化のための臨床研究
西川 亮	中枢神経系原発悪性リンパ腫に対するテモゾロミドを用いた標準治療確立に関する研究
古瀬純司	切除不能膵癌に対する標準治療の確立に関する研究

奥坂拓志	胆道がんに対する治療法の確立に関する研究
小西 大	胆道がんに対する治療法の確立に関する研究
武藤 学	これまで治療法がなかった食道癌術後の難治性吻合部狭窄に対する新しい治療法の開発
田原 信	進行頭頸部がんに対する術後補助療法の標準治療確立のための多施設共同研究
森実千種	消化器神経内分泌癌に対する標準治療の確立に関する研究
渡辺俊一	高悪性度神経内分泌肺癌切除例に対する術後補助化学療法の標準治療確立のための研究
塚崎邦弘	臨床試験、発症ハイリスクコホート、ゲノム解析を統合したアプローチによる ATL 標準治療法の 開発
成田善孝	予後不良の Grade II および Grade III 神経膠腫に対する標準治療の確立と希少癌組織のバイオバンクを目的とした多施設共同研究
本間明宏	進行上顎洞癌に対する超選択的動注化学療法を併用した放射線治療による新規治療法開発 に関する研究

【調整医療機関事務局業務】

●平成 25 年度 厚生労働科学研究費補助金がん臨床研究事業 研究課題 1 件

- 1 /// 1 //	TO THE PERSON OF
研究代表者	研究課題名
塚崎邦弘	成人T細胞白血病リンパ腫に対するインターフェロンαとジドブジン併用療法の有用性の検証

●平成 25 年度 国立がん研究センターがん研究開発費 研究課題 1 件

研究代表者	研究課題名
澁井壯一郎	23-A-20 希少悪性腫瘍に対する標準治療確立のための多施設共同研究

●平成 26 年度 厚生労働科学研究委託費革新的がん医療実用化研究事業 研究課題 3 件

研究代表者	研究課題名
寺島雅典	高度リンパ節転移を有する HER2 陽性胃癌に対する術前 trastuzsumab 併用化学療法の意義 に関する臨床試験
西川 亮	中枢神経系原発悪性リンパ腫に対するテモゾロミドを用いた標準治療確立に関する研究
塚崎邦弘	臨床試験、発症ハイリスクコホート、ゲノム解析を統合したアプローチによる ATL 標準治療法の 開発

【医師主導治験データマネジメント・研究支援業務、治験調整委員会事務局業務】

●平成 25 年度 厚生労働科学研究費補助金第 3 次対がん総合戦略研究事業 研究課題 1 件

研究代表者	研究課題名
大津 敦	臨床病期Ⅱ/Ⅲ(T4を除く)食道がんに対する新しい化学放射線療法の開発に関する研究